

授業計画 《書写書道特論》

授業の目標・テーマ

「文字を書くこと」は、子どもたちの学習活動のもっとも基礎となる部分といっても良いでしょう。しかし、現実の書写の授業は、お手本のマネのうまい子を育てただけではないかといった声も聞かれます。また、手で文字を書くという行為は、情報機器の普及した今日でも、誰もがおこなっている日常的な活動といってよいはずですが。そして、この100年の間に毛筆から硬筆への移行や、情報機器の普及という大きな変化がありました。一方で、書写の指導は旧態然としているという声が聞かれます。現代における国語教師として、どのような対応が必要なのでしょう。これらの批判にこたえるべく、書写の学習のあり方について、教師としての基礎的な力をつけることがこの授業のねらいです。国語科書写において必要となる<授業の考え方><字形等の視覚的学習内容><筆順を含む文字を書く動作><文字を書く目的等>について扱います。

- ◎ 専攻・コースを問わず、小学校教員・中学校国語教員とそれを目指す多くの学生が履修してくれることを願います。

授業の概要

国語科書写の授業を中心とする「文字を書くこと」の学習の基礎・周辺理論として、日常において書く行為や書き表された字形などについての研究、子どもたちが書く文字なども対象となります。授業は、字形、筆順、書字動作などについて具体的に考察し、国語科書写の教材化に役立つ内容を中心にします。

時間割	木曜日 5限 (16:20-17:50)
授業資料	http://www.shosha.kokugo.juen.ac.jp/oshiki/jyugyo/tokuron/
参考図書等	全国大学書写書道教育学会編『明解 書写教育』/萱原書房 「手書き文字の科学-なぜと問いかける書写指導のために-」 http://www.shosha.kokugo.juen.ac.jp/oshiki/graphono/
評価と課題	簡単なレポートを予定 (A4版2~10枚程度)

授業予定

時	月日	概略
1		授業の概略と問題提起 ー文字を書くことの変化と書写のあり方ー
2		書写教育の基礎知識1 ー書写と習字と書き方?・書写の目的ー
3		書写の学習方法の変化 ー手本中心型からの脱皮ー
4		書写教育の基礎知識2 ー文字に関する基礎知識・書字行為のバランスー
5		<静的視点>と字形の問題1 ー字形を整えて見せる要素とは?ー
6		字形の問題2 ー部分からなる字・ばらついて読みにくいのはなぜ?ー
7		字形の実態と文字の大きさ等 ーなぜこんな字を書いているのか?ー
8		<動的視点>と持ち方・姿勢の問題 ー正しい持ち方でなくとも書けるのに?ー
9		筆順と書字過程に関する問題 ー筆順にはどういう意味がある?ー
10		字を書く際の運動と点画 ーはね・払いにこだわり過ぎ?ー
11		日常における書字活動のために ー速く書くと字が汚い?!ー
12		文字を書く動作と行書学習 ー字を書くとき疲れる?!ー
13		コミュニケーション要素としての文字を書くこと ー字は○をあらわす?ー
14		文化としての文字を書くこと ー書の美・パーソナルレターは手書きー
15		(予備) 授業で出てきた質問事項から